

沼津市中心市街地まちづくり戦略会議WG 第2回新たな都市機能導入に関する会議（意見要旨）

【日 時】令和元年6月26日（水）15:00～17:00

【場 所】沼津市商工会議所1階コミュニティホール

【出席者】岸井隆幸（日本大学特任教授）、海野伸男（第一地区連合自治会副会長）、高田利昭（第五東地区連合自治会副会長）、杉山栄一（第五開北地区連合自治会）、長岡勲（片浜地区連合自治会会長）、藤原維仁（沼津駅前名店街会長）、山崎将人（沼津仲見世商店街振興組合副理事長）、根上博（沼津商工会議所経営発達支援課長）、河野裕一（UR都市機構中部支社まちづくり支援課長）、玉木睦（静岡県都市局都市計画課長）、飯田温（静岡県都市局街路整備課長）、岡田卓治（沼津市商工振興課長）、真野正実（沼津市まちづくり政策課長）、大島秀文（沼津市推進課長）、滝山茂（沼津市沼津駅周辺区画整理事務所長）

1. 鉄道跡地の利活用

（1）車両基地跡地

- ・ 車両基地跡地に多くの人が入り出る公共施設等が立地することで、その周辺には多くの人が集まることから、民間投資も活発になると思う。
- ・ 拠点第一地区は施行済みの区域であるが、高架化が完了するまで七通線は現在の状態のままだと聞いており、高架事業に期待が持てない状況にある。暫定的な使い方も大事だと思う。また、七通線が将来どのようなようになるのかイメージを出していただければ希望が持てる。
- ・ 車両基地跡地は都市計画マスタープランで「県東部の拠点を形成する」となっているため、それに向けた土地利用をデザインしていくべきであり、行政機関・医療機関という考え方はあり得る。
- ・ 車両基地跡地に大型商業施設ができるということは現実的ではないと思う。沼津市の顔として、公共公益施設が配置されることがふさわしいと考える。
- ・ 鉄道跡地を活用して公共施設を立地させることにより、都市の構造を変えていこうという考えであると思うが、公共施設を立地させるのであれば公共施設マネジメント計画との整合性を図る必要があると思う。（今の公共施設が何年頃にでき、建て替えがいつ必要になるのか。）
- ・ 導入する機能によっては区画整理の区画の変更も必要になる場合があるので、区画整理事業の変更等、柔軟に対応できるようにしてほしい。

（2）貨物駅跡地

- ・ 貨物駅跡地については、住みやすいまちということを考えれば公園や幼稚園等がふさわしいと思う。線路の北側には片浜北公園があるが、南側には公園がない。
- ・ 片浜北公園は都市計画決定の半分以下しか整備できていない。線路南側には公園がないので、貨物駅跡地を防災公園として整備していただくとありがたい。（地域からも希望する声がある）

(3) 高架下

- ・ 高架下利用については鉄道事業者との協議によって決まるものである。そのためには、まず設置したい公共施設（行政、福祉、駐輪場等）をリストアップする必要がある。
- ・ プラサヴェルデ付近の高架下をどのように活用するのかがポイントである。また、高架下の通路位置を含め、プラサヴェルデと駅南側の連携をどのように考えていくのが重要であると思う。

2. 都市のスポンジ化への対応

- ・ 駐車場地区と居住地区に区分して、分散している人を中心市街地に集める施策が必要ではないかと思う。中心市街地に人を集めて楽しめるまちをつくりたい。
- ・ 例えば、駅を中心に2km圏内は駐車場を設けなくて、圏内へのアクセスはバスや自転車を使用すればよいと思う。高齢者向けには、社会実験で行ったゆっくり走行するEVバスのようなものを充実させることも考えられる。
- ・ 駐車場については利便性と採算性の問題があると思うが、将来的に10万人都市になっていくことを見据えて、新しい駐車場の方策を考えなければならないと思う。
- ・ 自分自身も自動車を使うので、目的地の近くに駐車場があれば便利であるため利用するが、全体のバランスを考えて駐車場のあり方を検討すべきだと思う。
- ・ 駐車場のあり方について、将来のあるべき姿（青写真）を描いてほしい。
- ・ 鉄道跡地等を利用して公共施設等を誘導すれば、人が集まるようになり、駐車場が必要になると思う。現状をどうするかというより、将来を見据えて駐車場を配置するエリア等の方向性を示しておく必要があると思う。
- ・ コモンズ協定のような取組の可能性は大いにあると思う。青写真を描き、どのようにまちが変わっていくのか市民に示すことが重要であると思う。
- ・ 駐車場についてよくやる手法として、道路ごとに歩行系・車系と性格付けを行い、駐車場の出入口の立地を規制するというものがある。

以上